

令和2年教育委員会第11回定例会会議録

開会日時 令和2年11月5日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時14分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 小花高子
同職務代理者 日高芳一
委 員 齋藤初夫
委 員 塚本 亨
委 員 望月京子
委 員 青柳 豊

議場出席委員

・教育次長	安井喜一郎	・学校教育担当部長	菅谷 幸弘
・教育総務課長	鈴木 雄祐	・学校施設担当課長	森 孝行
・学務課長	山崎 淳	・指導室長	加藤 憲司
・学校教育支援担当課長	柴田 賢司	・統括指導主事	木村 文彦
・統括指導主事	大川 千章	・地域教育課長	尾崎 隆夫
・放課後支援課長	生井沢良範	・生涯学習課長	加納 清幸
・生涯スポーツ課長	南部 剛	・中央図書館長	尾形 保男

書 記

・教育企画係長 大石 睦貴

開会宣言 教育長 小花高子 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 小花高子 委員 日高芳一 委員 齋藤初夫
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

開会時刻 10時00分

○**教育長** おはようございます。それでは、出席委員は定足数に達しておりますので、令和2年教育委員会第11回定例会を開会いたします。

次に、本日の会議録の署名は私に加え、日高委員と齋藤委員をお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

本日は、報告事項等が2件でございます。

それでは、報告事項等の1「令和3年度『葛飾教育の日』の実施について」の報告をお願いします。

指導室長。

○**指導室長** それでは、「令和3年度『葛飾教育の日』の実施について」ご報告をいたします。

まず、1「目的」でございます。例年どおりでございますけれども、授業時数の確保を行い、確かな学力の定着や豊かな心の育成などを推進するとともに、家庭・地域との連携をより一層深め、葛飾区の教育の充実を図るため、「葛飾教育の日」を定め、原則として月に1回、土曜日に実施するものでございます。

2「実施日」でございますが、令和3年度の「葛飾教育の日」の実施日につきましては、その表のとおりでございます。

次に、各学校は、学校や地域の実情に合わせて、令和3年度計画の作成時に指導室長と協議の上、年度内1日に限り、別日を「葛飾教育の日」とすることができるとしております。これも例年どおりでございますが、様々、地域の行事等もありますので、その辺りを勘案したところでございます。

次に「葛飾教育の日」の授業につきましては、通常の授業を基本としております。ただ、家庭及び地域との連携を深められるよう、各学校が創意工夫をするものとしております。指導室長と協議の上、学校の特色を生かした教育活動を行うことができるとしております。

今年度の「葛飾教育の日」でございますけれども、新型コロナウイルス感染症対策ということで、現時点では、12月まで家庭・地域への公開を見合わせております。

先日、校・園長会正副会長連絡会で、それぞれの会の役員の先生方からも意見を伺いながら、また現在の情勢を見ながら、3学期以降の公開につきましては、ご意見を頂き、今、協議をしているところでございます。

ご報告は以上でございます。

○**教育長** ただいまの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

青柳委員。

○**青柳委員** 今、指導室長からお話をお伺いして、3学期の公開授業に関しましてご検討されていらっしゃるというお話の中で、今年度、特に小・中学1年生であるとか、小学校生活最後の6

年生や中学3年生など、ある程度、学年や時間によって、保護者は、何学年は何時間目に来ていいよとか、多少分けることで分散などもできると思います。そういうことも考慮していただきながら、前向きにご検討していただけたらうれしいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長 ご要望でよろしいですか。

○青柳委員 はい。質問ではなく要望になります。

○教育長 そのほかにはいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、報告事項の1を終わりといたします。

次に報告事項の2「令和2年度『朝食レシピコンテスト』の実施結果について」の報告をお願いします。

地域教育課長。

○地域教育課長 それでは、私から「令和2年度『朝食レシピコンテスト』の実施結果」につきまして報告させていただきます。資料をご覧ください。

まず1の「目的」でございますが、区内在住・在学の小学生を対象として、児童が家庭の中で朝食について考える機会をつくり、朝食に対する意識を高めるために開催するものでございます。

2の「応募数」でございますが、953作品。応募校数は39校と、多くの児童に応募していただきました。参考までに昨年度と比較しますと、作品数は160作品の減、応募校数は2校の減となっております。

3の「結果」でございますが、入賞12作品につきましては、記載のとおりとなっております。なお、入賞の12作品につきましては、令和3年度「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」に掲載するとともに、「かつしかのきょういく」、また「広報かつしか」等においても掲載してまいります。

4の「表彰式」でございます。令和3年3月17日、水曜日に実施の予定でございます。

私からの報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

塚本委員。

○塚本委員 質問というよりも感想なのですがけれども、とても熱心な学校が、今般も見られるのかなというのと、それぞれの取組が、このコロナ禍で授業が休業になった、そういった背景の中で、家庭を通して子どもたちが親御さんたちと頭をひねってそういうものをつくる。もうひとつ、私のイメージでは、つい先だって、学校給食のコッペパンのテーマがテレビで放映されたのですがけれども、非常に時代を感じるようなメニューが出来上がったな。そういった感想を持ちましたので、逆に、家庭内での親御さんとの絆というか、つながりが出来る意味もございますので、大

切にしていだければという感想を持ちました。

以上です。

○**教育長** ご感想ということで、ありがとうございます。

そのほかにはいかがでしょうか。

望月委員。

○**望月委員** ここの結果の報告を見たときに、応募校数は 39 校となっていますけれども、まず、作品も含めて割と多く出しているのかなという印象です。

ただ、このように結果が出てきた場合に、学校の 1 校 1 校が大体どのくらいの人数に出品させているのかなというのを知りたいと思いましたので、分かれば、この学校から何名出ていますというのを教えていただければと思います。

○**教育長** 地域教育課長。

○**地域教育課長** ただいまのご質問ですけれども、今回 953 作品の応募がございました。その中で、実は上千葉小学校が 6 名の入賞ということで、非常に多くなってございます。

その要因の一つとして挙げられることが、今回、953 作品のうち 236 作品が上千葉小学校からの応募でございました。これは全体の約 4 分 1 を占める、かなり数の多い応募があったというところでございます。

ちなみに、5 名以下の応募があった学校数につきましては 22 校ございました。かなり学校によってばらつきが多いのが事実でございます、0 名のところも多くございます。また、1 名、2 名の応募があったところも多くございます。ただ、一方で上千葉小学校のように 236 名ということで、かなりばらつきがあったものでございます。

ただ、我々、採点するときには、あくまでもお子さんがつくってきていただいたレシピのみを見て採点をしてございます。ですので、学校の応募数が多いから入賞者数を増やしたということではなく、純粋にレシピの採点結果として、このような数字になったということが事実でございます。

○**教育長** よろしいでしょうか。

望月委員。

○**望月委員** よく分かりました。ただ、このような良い事業なので、学校でも例えば家庭科の授業の一環になりますよね。そういうところでも、こういうコンテストがあるということを広く伝えながら応募するような方向に持っていただければもう少し増えるかなと思います。その点、よろしく願いいたします。

○**教育長** ありがとうございます。

そのほかにも、ご質問等いかがでしょうか。

齋藤委員。

○齋藤委員 目的の最後のところで、朝食レシピコンテストが、朝食に対する意識を高めるために開催するとなっているのです。これは目的が朝食に対する意識を高めるためということに決められてしまっているのですけれども、私としては、朝食を食べることが、セロトニンとかメラトニンの関係で、睡眠による免疫とか成長ホルモンを増やすことにつながるので、朝摂るタンパク質が大事だとか、いろいろとあるので、朝から始まるのだよという話だと思うのです。

ですから、朝食に対する意識を高めると言うと、朝食だけに目が行ってしまう。目的のところにきちっと、睡眠の効果というところを大事にするためということも含めて、「早寝・早起き、朝ごはん」の目的にその辺のニュアンスを入れないと。どうしても言葉というのは独り歩きをして、朝食に対する意識だけを高めればいいのだということになってしまうので、本来の趣旨がどういうものかということも分かるように、目的のところにはもう少し言葉を添えたほうがいいのではないかと思います。

これまで、「早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の中に、セロトニンとかアミノ酸など、きちっと睡眠の大切さを入れていただいて、改良されてきているのですけれども、この目的だとその大事なところが失われかねないので、目的のところに少し言葉を添えて、そういったニュアンスが分かるように、もう少し表現できないのかなと私は感じました。その辺について、いかがでしょうか。

○教育長 地域教育課長。

○地域教育課長 今、委員からお話があったとおり、我々としても、睡眠の重要性は認識しているところでございます。

カレンダーにも睡眠の重要性をうたっているところではございますが、この朝食レシピコンテストの募集のときにも、こうした睡眠の重要性もPRしていくように、今後改善していきたいと考えております。

○教育長 よろしいでしょうか。

そのほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で報告事項の2を終わりいたします。

以上で、本日の議事は全て終了となりますが、その他、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

望月委員。

○望月委員 小学校6年生と中学校3年生ですか、修学旅行がなくなるという話があって、何か違う方法を考えるという話があったと思うのですけれども、その後どうなっているのか、もし分かれば教えてください。

○教育長 指導室長。

○指導室長 まず小学校6年生でございますけれども、校長会と協議をしまいったところでご

ございます。小学校6年生につきましては、日帰りで各学校の近接地で、安全を担保したまま様々な経験ができるということで、バスについて公費助成を行います。日光移動教室の代替という形で、今、学校とは進めているところでございます。

また、修学旅行につきましては、3月に実施ということで、まだ行き先について細かな調整をしているところもありますけれども、24校の中学校が3月に日帰り、もしくは1泊で、関東近県で実施をしていくということで、進めているところでございます。

もう一つ、イングリッシュキャンプというものがございます。これにつきましては、宿泊を伴うため懸念をしておりましたけれども、都内にあります TOKYO GLOBAL GATEWAY でできないかということで、これについても学校と協議をしながら、中学生について、代替で実施する方向で進めているところでございます。

以上です。

○**教育長** よろしいでしょうか。

そのほかには。

齋藤委員。

○**齋藤委員** 感想です。今、修学旅行や日光移動教室、それから TOKYO GLOBAL GATEWAY の話等いただきましたけれども、そういった子どもたちにとって、人生の中で大事な節目の行事を何とか実現しようということで取り組んでいただいているということで、大変にありがたいと思います。ぜひよろしくをお願いします。

○**教育長** ありがとうございます。

そのほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上をもちまして、令和2年教育委員会第11回定例会を閉会といたします。

ありがとうございました。

閉会時刻 10時14分